

# 平成 19 年度 決算報告書

国立大学法人 小樽商科大学  
(単位: 百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算 - 予算)	備 考
収入				
運営費交付金	1,425	1,425	0	
施設整備費補助金	79	63	16	
船舶建造費補助金			0	
施設整備資金貸付金償還時補助金			0	
補助金等収入			0	
国立大学財務・経営センター施設費交付金		16	16	
自己収入	1,346	1,386	40	
授業料及び入学金及び検定料収入	1,328	1,355	27	(注1)
附属病院収入			0	
財産処分収入			0	
雑収入	18	31	13	(注2)
産学連携等研究収入及び寄附金収入	48	51	3	(注3)
長期借入金収入			0	
貸付回収金			0	
承継剰余金			0	
旧法人承継積立金			0	
目的積立金取崩		65	65	
計	2,900	3,008	108	
支出				
業務費	1,962	2,056	94	
教育研究経費	1,962	2,056	94	(注4)
診療経費			0	
一般管理費	809	676	133	(注5)
施設整備費	79	79	0	
船舶建造費			0	
補助金等			0	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	48	50	2	(注6)
貸付金			0	
長期借入金償還金			0	
国立大学財務・経営センター施設費納付金			0	
計	2,900	2,861	39	
収入 - 支出	0	147	147	

## 予算と決算の差異について

- (注1) 授業料及び入学金及び検定料収入については、授業料の納付率の向上により、予算金額に対して決算金額が27百万円多額となっています。
- (注2) 雑収入については、主として科学研究費補助金間接経費・財務収益等の増により、予算金額に比して決算金額が13百万円多額となっています。
- (注3) 予算段階では予定していなかった財団からの受託研究及び寄附金の獲得に努めたために、予算金額に比較して決算金額が3百万円多額となっています。
- (注4) 業務費については、当初一般管理費に計上する予定であった退職手当を教育研究経費にて計上したことにより125百万円多額となり、また、教育研究経費において経費の削減に努めたことから31百万円少額になったことにより、予算金額に比して94百万円多額となっています。
- (注5) 一般管理費については、当初一般管理費に計上する予定であった退職手当を教育研究経費にて計上したことにより125百万円少額となり、また、一般管理費において経費の削減に努めたことから8百万円少額になったことにより、予算金額に比して決算金額が133百万円少額となっています。
- (注6) (注3)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が2百万円多額となっています。